

平成25年度事業報告書

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人 海原会

平成 2 5 年度 事業報告書

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

当会の基本事業は、戦没された予科練同窓生各位の御霊に対して、深甚なる敬意を捧げてこの歴史的事実を正しく後世に伝承すること及びその御霊に尽瘁することにあります。然るに終戦以来 6 9 年を経過した今日、必然的に会員の高齢化が進みその結果として物故者が年毎に増加していること、更に体調を崩し気力は有っても行動が伴わないという現実の厳しさが増加傾向にあることなどから、その執行が困難化していることは遺憾ながら否めない現状であります。

今年度は平成 1 8 年に小泉純一郎内閣総理大臣が参拝して以来、7 年振りで安倍晋三内閣総理大臣が靖国神社を公式参拝いたしました。戦後の東京裁判において A 級戦争犯罪人となった人々が合祀されているからという理由で、先の大戦で「靖国神社で会おう」と国のために散華された予科練出身の英霊が祀られる靖国神社を、国民の代表である内閣総理大臣が自由に参拝をできないこの国のあり方が、これを機会に本来あるべき方向に変化していくことが期待されます。

また、筑波海軍航空隊で教官をした予備学生を主人公にした映画「永遠のゼロ」が封切られ、多くの若者が関心を示すなど海原会を取り囲む我が国の情勢が俄かに、我々が望む方向に動こうとしております。

我々海原会会員は国の情勢がどのように変化しようとも一喜一憂することなく、今から半世紀以上も前に、若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、会員一同老体にムチ打って平成 2 5 年度の事業にも全員が一丸となって精進してまいりました。遺憾ながら、広報不足により一部計画した事業が未達に終わるなどの問題点も発生いたしました。来年度の継続事業とするなどあくまで事業の完遂に努力したいと考えております。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重要なものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に建立されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。平成 2 5 年度は前年度に引き続き若葉薫る 5 月に実施いたしました。青葉若葉の初夏の香りを感じさせる快晴のもと約 4 0 0 名の同窓生及びご来賓の皆様が、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。

また、「予科練慰戦没者霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。

その主要なものは以下に記述するとおりであります。

1 第46回予科練戦没者慰霊祭

(1) 日 時 平成25年5月26日(日) 午前11時

(2) 場 所 陸上自衛隊武器学校内 「雄 翔 園」

(3) 実施内容

ア 慰霊式典

雄翔園内「二人像」前において、実行委員長 酒井副理事長の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・追悼の言葉・献花・来賓挨拶ご遺族の言葉と続き参加者全員で若鷲の歌を合唱して無事式典を終了しました。

イ 直 会

慰霊式典に引き続き、311名のご遺族並びにご来賓の皆様をお招きして、直会を実施しました。直会は、阿見町長 天田富司男様のご挨拶に引き続き、阿見町町議会議長 倉持松雄様の乾杯ご発声により開始され武器学校所属の常陸陣太鼓の慰霊演奏など、会員相互に懇親の実をあげて終了しました。

2 全国各地で举行された慰霊祭への参加

平成25年	4月	1日	浜空鎮魂之碑慰	於浜空神社跡
		3日	大分海軍航空隊鎮魂祭	於大分護国神社
		4日	予科練雄飛会総会及び慰霊祭	於靖国神社 酒井副理事長・助村・平野理事が出席しました。
		7日	宮崎特攻基地慰霊祭	
	5月26日		第46回予科練戦没者慰霊祭	於陸自土浦駐屯地内
	6月16日		日米合同慰霊祭	於静岡県賤機山山頂 菅野理事が主催しました。
	7月10日		東郷神社みたま祭り	
	9月15日		零戦の会慰霊祭・総会	於靖国神社 助村事務局長参列
	9月23日		特攻平和観音年次法要	於世田谷観音寺 助村事務局長参列
	11月25日		台湾元日本軍人軍属戦没者慰霊祭	於台中市宝覺寺境内 酒井副理事長、保坂理事参列

II 定期刊行物発行事業

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来421号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等、ご遺族の皆様にご喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

しかしながら、会員からの投稿記事も会員数の減少に伴い減少傾向にあり、機関誌の編集も思うに任せない状況となっています。このため、本年度は海原会の現状報告や雄翔館の整備状況紹介など海原会の活動状況の紹介を積極的に掲載するなど、これまでの戦争体験談やご遺族からの投稿記事主体の編集から会員相互の情報交換のための編集に配慮しました。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第415号から第420号までの6回の機関紙の発行を行いました。

III 青少年育成支援事業

1 青少年育成のため、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったうえ援を行うように努めましたが、今年度は特に新しい支援候補団体の推薦もなく例年どお雄翔園所在地元の阿見町が主宰をする球技大会に対して助成を行いました。

2 雄翔館・同園見学感想文募集

阿見町在住の小中学生を対象に、雄翔館及び同園の見学感想文の募集を行ったが今年度は残念ながら応募件数がゼロという結果に終わった。

これは、初めての事業であり募集要領が適切ではなかったことに起因しており、次年度は今年度の反省を踏まえて再度募集をしたいと考えています。

IV 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

戦後70年の年月が経過し、ご遺族に残された戦没者の遺書や遺品もその維持・管理が困難となるケースが多くなりつつあります。このため、海原会ではそれらの遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を本年度以降逐次実施していきませんが、それに先立ち本年度は現在海原会が雄翔館内に所蔵している遺書・遺品・遺影等の資料の電子データ化を推進するとともに、雄翔館内の展示要領の見直しを実施しました。

1 雄翔館プレオープンセレモニーの実施

平成25年4月6日に、陸上自衛隊武器学校の観桜会行事に先だって武器学校の主催による雄翔館のプレオープンセレモニーが開催されました。濱崎駐屯地司令の挨拶の後、理事長、副理事長によるテープカットが行われ、新展示のコンセプト等の説明を福田裕理事が行いました。

2 海原会所蔵の遺書・遺影等の電子データ化を推進しました。

また、当会所蔵の遺書・遺影・遺稿・各種資料の整理を実施した。この際海原会所蔵品庫を従来のプレハブから、より良好な保管環境を有する倉庫に移設を完了した。

V 遺族支援調査事業

祖国存亡のときに、若き一身を国に捧げて悠久の大儀に殉じた多くの我が予科練同窓のご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状を鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭にも出席の勧誘を実施して参りました。

IV 庶務事項

(1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しました。

平成25年4月18日 5月23日 6月11日 7月23日 8月23日

9月19日 10月22日 11月19日 12月17日

平成26年1月16日 2月18日 3月18日

(2) 編集会議

機関誌月刊「予科練」の編集会議を海原会事務局会議室において実施しました。

(3) 平成25年度評議員会開催

平成25年6月11日 於霞ヶ関ビル東海大学交友会館において、平成24年度事業報告書及び決算報告書の審議を行うとともに、平成25年度事業計画・予算案の報告を行い、賛成多数で可決されました。

(4) 会計監査

平成25年5月28日 海原会会議室において、平成25年度の評議員会の開催に先立ち、平成25年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成25年度海原会の経費執行に関して問題のないことを確認しました。